

**2025年3月期 第3四半期**



アリアケジャパン株式会社

**決算説明会資料**

2025年2月7日

アリアケジャパン株式会社（証券コード2815）

# 目次

- 02-04 2024年12月期決算のポイント(連結・単体)
  - 05-06 グループ別売上高 (対前年実績比較)
  - 07-08 グループ別営業利益 (対前年実績比較)
  - 09-10 海外グループ会社状況 (アジア・欧州)
  - 11-15 アリアケジャパン単体状況
  - 16 売上高推移 (単体・連結)
  - 17 営業利益推移 (単体・連結)
  - 18 経常利益推移 (単体・連結)
  - 19 親会社に帰属する当期純利益推移
  - 20 設備投資の推移 (連結・単体)
  - 21 減価償却費の推移 (連結・単体)
  - 22 当期計画
  - 23-24 中期3年事業計画
  - 25-26 アリアケジャパン成長のビジョン
  - 27 アリアケグループ「世界7極体制」
- 〔補足資料〕 決算のポイント

## 2024年度12月期決算ポイント（要約）

項目	実績	前年	前年増減	前年比
連結売上	488.7	447.0	+41.7	+9.3%
連結営業利益	81.7	63.5	+18.3	+28.8%
連結経常利益	88.9	66.1	+22.8	+34.5%
連結純利益	60.1	44.4	+15.7	+35.3%
単体売上	363.4	337.4	+26.0	+7.7%
単体営業利益	58.4	43.5	+15.0	+34.4%
単体経常利益	67.6	46.1	+21.5	+46.6%
単体純利益	47.4	33.0	+14.4	+43.5%

※単位は億円 四捨五入して記載 前年比は、%表記

## 2024年12月期決算のポイント（連結）

### □ 売上、営業利益は、増収増益

売上高488.7億円（対前年+41.7億円+9.3%）

営業利益81.7億円（対前年+18.3億円+28.8%）

営業利益率16.7%（対前年+2.5ポイント）

海外子会社125.3億円（対前年+15.7億円+14.3%）

アジア及び欧州とも増収増益でした。欧州が売上伸長、中国、台湾が3Q売上減。

海外子会社営業利益23.3億円（対前年+3.3億円+16.5%） 営業利益率18.9%

### □ 経常利益・純利益

デリバティブ評価損の減少により、経常利益は88.9億円（対前年+22.8億円+34.5%）

純利益は60.1億円（対前年15.7億円+35.3%）

### □ 2025年3月期 業績予想（修正なし）

売上628億円（+4.7%） 営業利益99億円（+14%）（営業利益率15.8%）

経常利益114億円（+6.4%） 純利益78億円（+6.1%）

## 2024年12月期決算のポイント（単体）

### □ 売上、営業利益は、増収増益

売上高363.4億円（対前年+26.0億円+7.7%） 外食好調で売上牽引、CVSも復調

営業利益58.4億円（対前年+15.0億円+34.4%） 大幅利益改善

営業利益率16.1%（対前年3.2ポイント改善）

価格改訂、コストダウン効果により営業利益額・率が改善

### □ 経常利益・純利益

経常利益は67.6億円（対前年+21.5億円+46.6%）

純利益は47.4億円（対前年+14.4億円+43.5%）

デリバティブ評価損の減少によるもの。

### □ 2025年3月期 業績予想（修正なし）

売上460億円（+2.9%） 営業利益69億円（+17%） 営業利益率15.0%

## [グループ別] 売上高（対前年実績）

※子会社は連結調整後

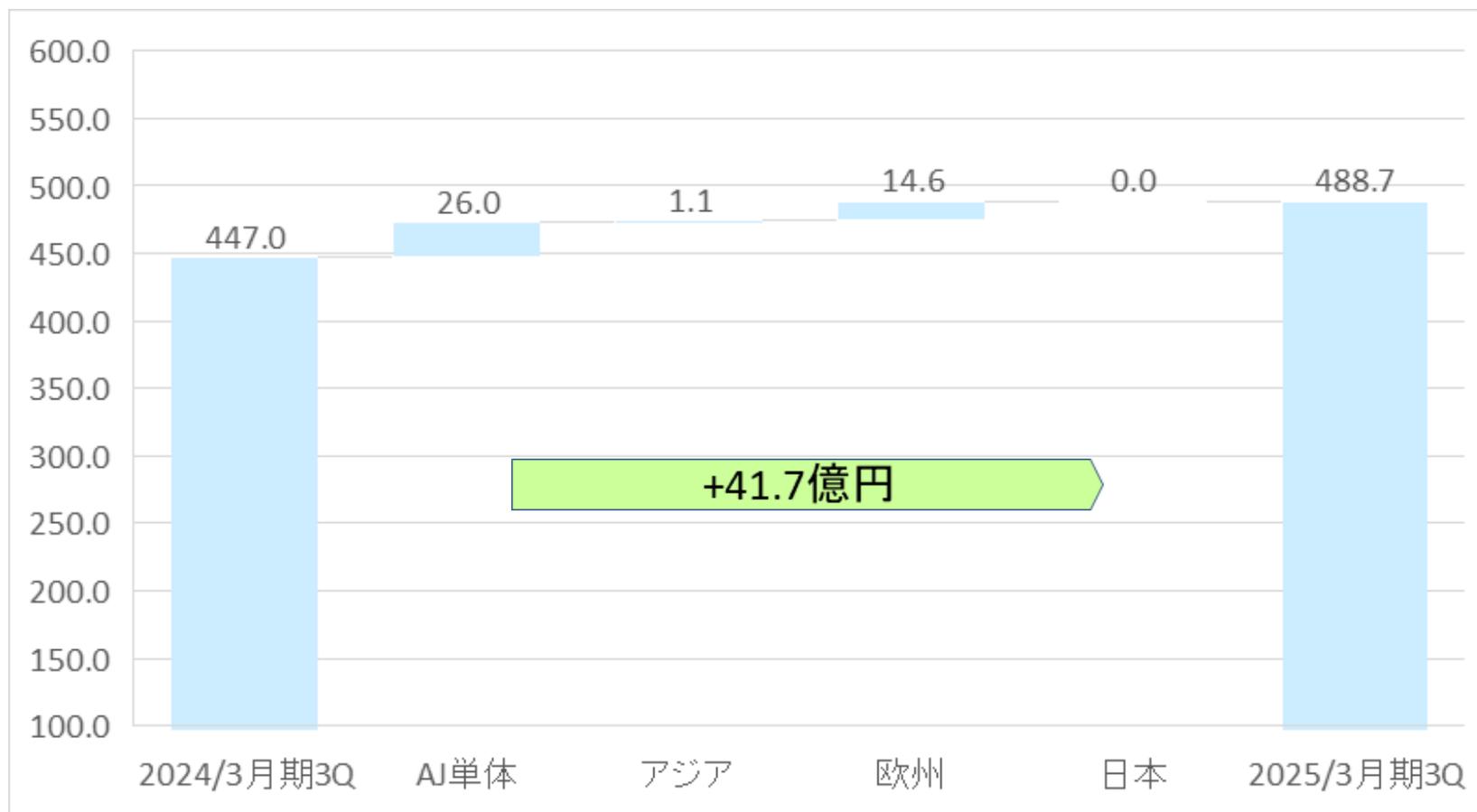
（単位：億円）

	2025/3期 3Q (A)	2024/3期 3Q (B)	増 減 (A-B)	%	
				%	為替中立
アリアケジャパン	363.4	337.4	26.0	7.7%	-
子会社 計 ※	125.3	109.6	15.7	14.3%	14.5%
アジア	71.8	70.7	1.1	1.6%	2.5%
欧州	51.2	36.6	14.6	39.7%	38.5%
日本	2.3	2.3	0.0	0.9%	-
連結	488.7	447.0	41.7	9.3%	10.5%

EUR	159.43	158.00	1.43
人民元	20.46	20.46	0.00
台湾ドル	4.51	4.63	△ 0.12
ルピア	0.0095	0.0097	△ 0.0002

## [グループ別] 売上高 (対前年実績)

(単位：億円)



## [グループ別] 営業利益（対前年実績）

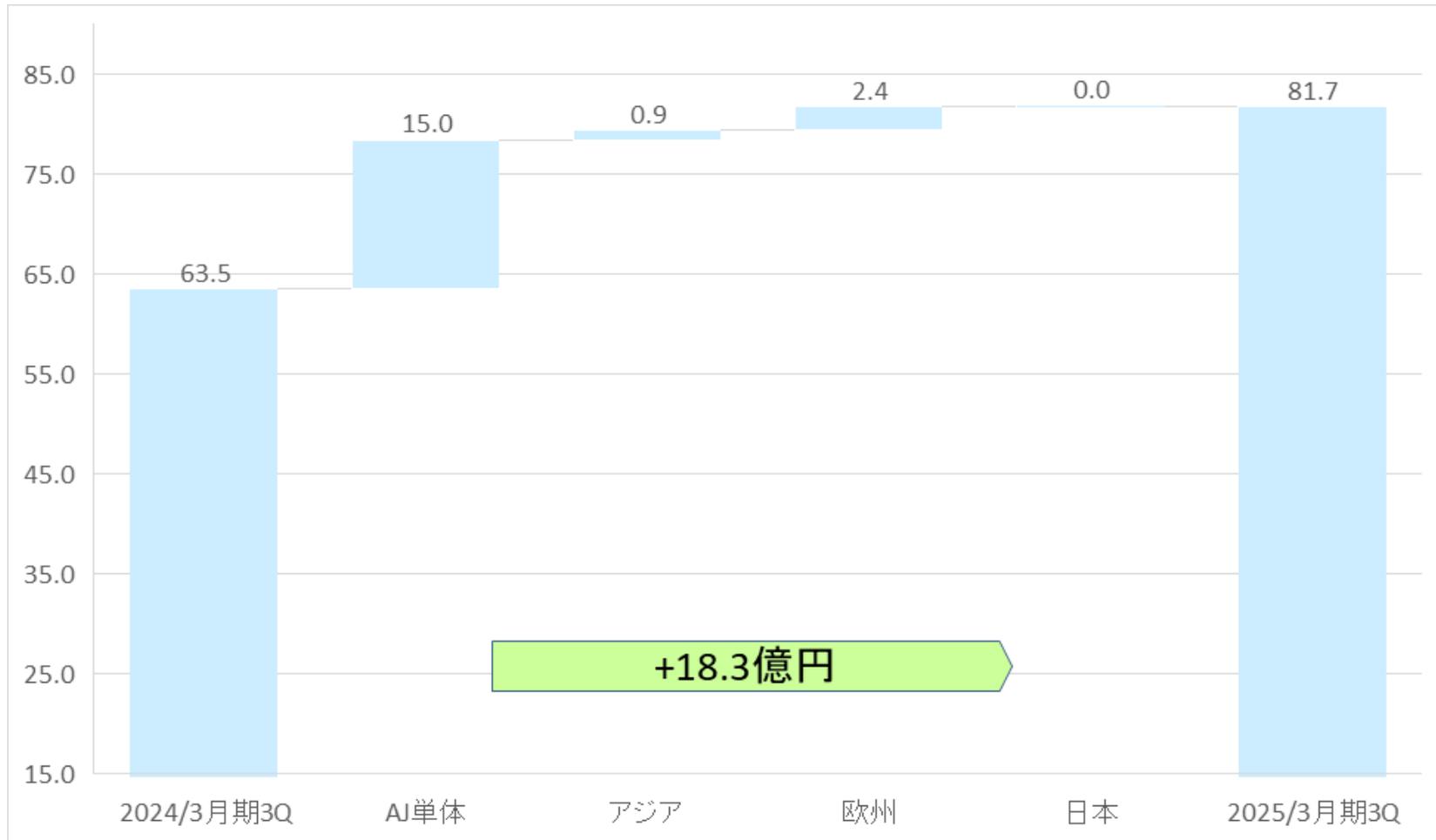
※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	2025/3期 3Q (A)	2024/3期 3Q (B)	増 減 (A-B)	%	
				%	為替中立
アリアケジャパン	58.4	43.5	15.0	34.4%	-
子会社 計 ※	23.3	20.0	3.3	16.5%	17.2%
アジア	17.6	16.7	0.9	5.6%	6.8%
欧州	5.6	3.2	2.4	73.7%	72.2%
日本	0.1	0.1	0.0	0.0%	-
連結	81.7	63.5	18.3	28.8%	29.0%

## [グループ別] 営業利益（対前年実績）

(単位：億円)



## 海外グループ会社の状況（アジア）

### □中国：減収増益

- 2Qまでは前年のコロナ禍による大幅減から回復しましたが、3Qに入り不動産不況、景気後退による消費控えが顕著に現れ、売上は対前年0.4%減、営業利益は7.4%増となりました。
- 新規顧客、新規案件の開拓に取り組みます。特に、最終B2C製品の販売に注力すべく流通向け調理製品（予製菜）を開発し、製品化が進行しています。（12月から生産開始）

### □台湾：減収増益

- 売上は対前年0.5%減、営業利益は7.5%増となりました。
- 複数回に渡る台風の襲来、麺の売上減などにより、3Qの売上が減少しました。

### □インドネシア：増収減益

- 売上は対前年84%増、一方営業利益は31%減となりました。
- アリアケジャパン向け輸出を調整した一方、インドネシア国内、ASEANへの輸出に注力しました。グループ外売上比率は、前年3Qの32%から50%へ大幅に伸長致しました。一方、国内製品の利益率が低く、減益となりました。今後国内製品の価格改訂、コストダウン等による利益改善に取り組みます。

## 海外グループ会社の状況（欧州）

### □ベルギー：増収減益

- 既存製品のEU圏内での販売増により売上は対前年162%増、一方で営業利益はUHT設備の減価償却増により、2.8億円の営業赤字（対前年－0.67億円）となりました。
- 2023年末から、UHT製品の販売を開始致しましたが、売上実績は計画を下回り、販売・管理体制の強化、販促の実施、製品の追加等を進めます。

### □フランス：増収増益

- EU圏内での販売促進により、売上は対前年32%増、営業利益は185%増となりました。
- ユーティリティコスト増が緩和され、日本向け輸出量の調整が終了し、生産増となり利益増となりました。通期赤字計画を3Qで黒字転換できました。スプレー粉末製品の販売は、工業向けを中心にサンプルを提出し、商談進行中です。長年の販売ルートを有するオランダ（ヘニングセン）との販売提携を行い、グループシナジー効果を期待しています。

### □オランダ（ヘニングセン）：増収増益

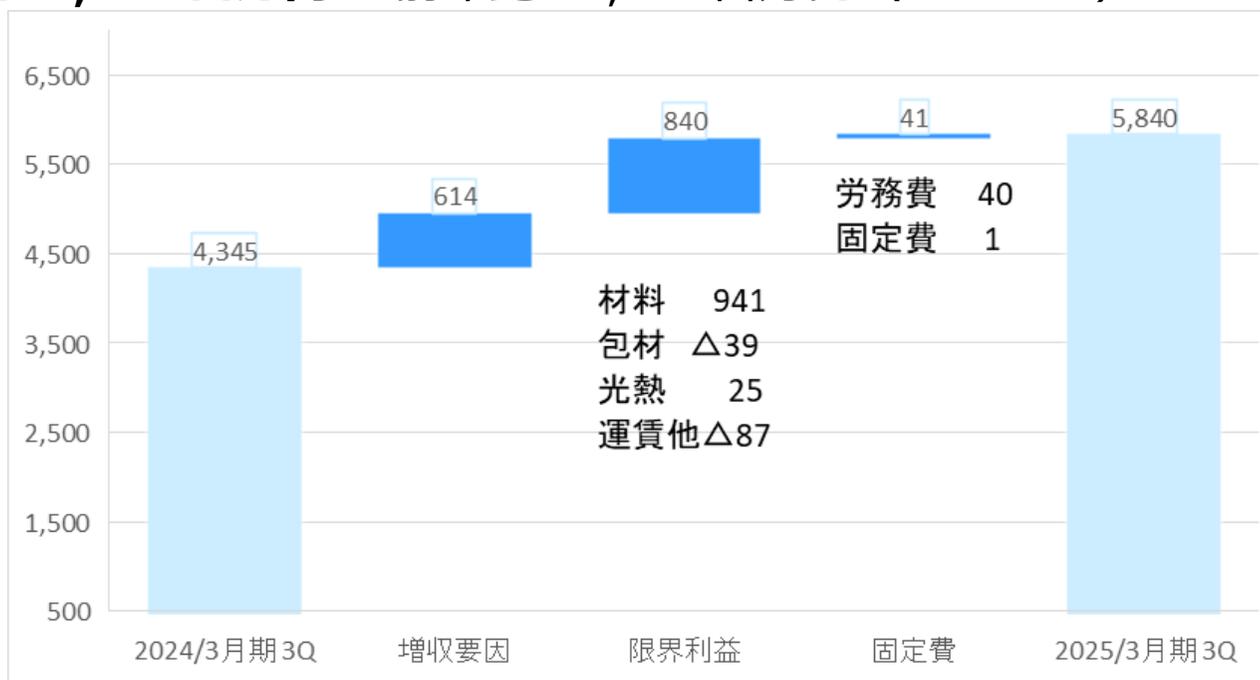
- 長年の実績をベースに堅調な売上と営業利益です。売上は対前年11.6%増、営業利益は46%増となりました。

## [アリアケジャパン単体]カテゴリー別売上比率及び増減

カテゴリー	売上比率	前年比増減
食品メーカー	20%	+7%
外食	46%	+12%
CVS	33%	+3%
輸出	1%	0%
合計	100%	+7.7%

## [アリアケジャパン単体] 利益変動要因（対前年比較）

■ **営業利益 5,840百万円** 前年比+1,495百万円（+35.4%）（単位：百万円）



■ **経常利益 6,763百万円** 前年比+2,149百万円（+46.5%）（単位：百万円）

増加要因	営業利益増加	1,495
	受取配当金他	103
	デリバティブ評価損の減	1,112
減少要因	為替差益	△ 450
	貸倒引当金繰入	△ 111
	合計	2,149

## アリアケジャパン単体の状況

### □売上

- 人流回復、人手不足需要、インバウンド効果などにより、外食需要は引き続き活発で、対前年同時期比12%増となりました。
- 加工食品メーカー向けは値上げ効果および節約志向などによる需要増で同7%増となりました。
- CVS向けは、当社の強みを活かした製品の提案により売上が回復し、同3%増となりました。
- 引き続き、提案営業を継続し、売上拡大を図ります。B2C製品、プラントベース製品の拡販、外食企業の海外進出に対するフォロー、スーパー業態への拡販など売上拡大を図ります。

### □利益改善

- 原料、包材、運賃値上がり、円安の進行など利益悪化要因が引き続きありますが、今期計画営業利益率15%の達成に向けて、工場におけるVA、工程改善によるコストダウン、営業における利益改善（価格改訂、リニューアル）を推進いたしております。
- 営業の利益改善計画22.6億円（今期内寄与額）に対し達成見込額22億円（97%）です。3Q売上増に占める価格改訂の効果は約42%でした。（販売価格対前年単純比較）
- 工場のコストダウン計画約26億円に対し、12月までの達成額は33.2億円（125%）です。
- 3Qにおける対前年比、販売数量の増減は+3.0%、販売単価の増減は+4.6%でした。（40：60）
- 4～12月単月の営業利益率は、すべての月で対前年を上回り、3Q単では18.6%でした。

## [アリアケジャパン単体] 売上利益比較

### 売上(百万円)

期	1q	2q	2q累計	3q	3q累計	4q	4q累計
2024年3月期	10,098	10,934	21,031	12,706	33,737	10,963	44,701
2025年3月期計画	10,375	11,530	21,905	12,988	34,893	11,107	46,000
2025年3月期実績	10,829	11,906	22,734	13,605	36,339		

### 営業利益(百万円)

2024年3月期	1,198	1,250	2,448	1,896	4,345	1,579	5,924
2025年3月期計画	1,381	1,697	3,078	2,240	5,318	1,582	6,900
2025年3月期実績	1,510	1,803	3,313	2,528	5,840		

### 営業利益率(%)

2024年3月期	11.9	11.4	11.6	14.9	12.9	14.4	13.3
2025年3月期計画	13.3	14.7	14.1	17.2	15.2	14.2	15.0
2025年3月期実績	13.9	15.1	14.6	18.6	16.1		

# プラントベース製品の拡販

## □大豆でつくったマヨネーズタイプ B2B、B2Cで営業中

- 動物系原料を一切使用していない植物生まれのヘルシーマヨタイプです。
- 一般的に、市販されているマヨネーズの脂肪分は70%前後です。本品は、脂肪分は17%と低く、一般的なマヨネーズと比べたん白は同等レベルで、カロリーは約1/3です。
- 本品は、大豆を丸ごと使用し、おからごときめ細かく磨砕した濃厚なベースを原料としております。おからも丸ごと使用しているため、大豆の栄養素を余すことなく使用しております。また、SDGsの観点から、廃棄物のないサーキュラーエコノミーに取り組んでおります。

## □アニマルフリーのラーメンスープ



九州豚骨ラーメンTaste



東京担担麺Taste

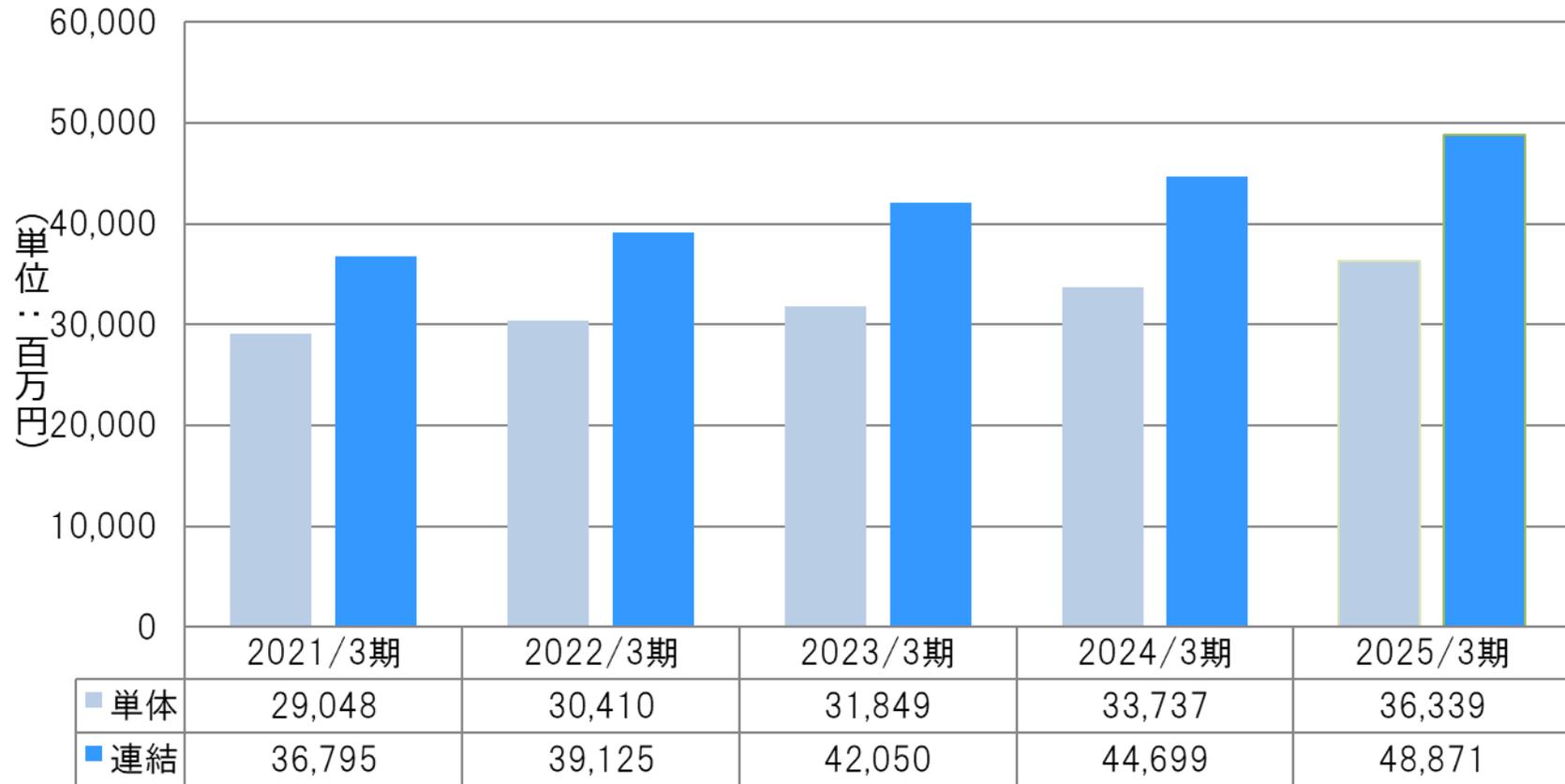


大豆マヨネーズタイプ

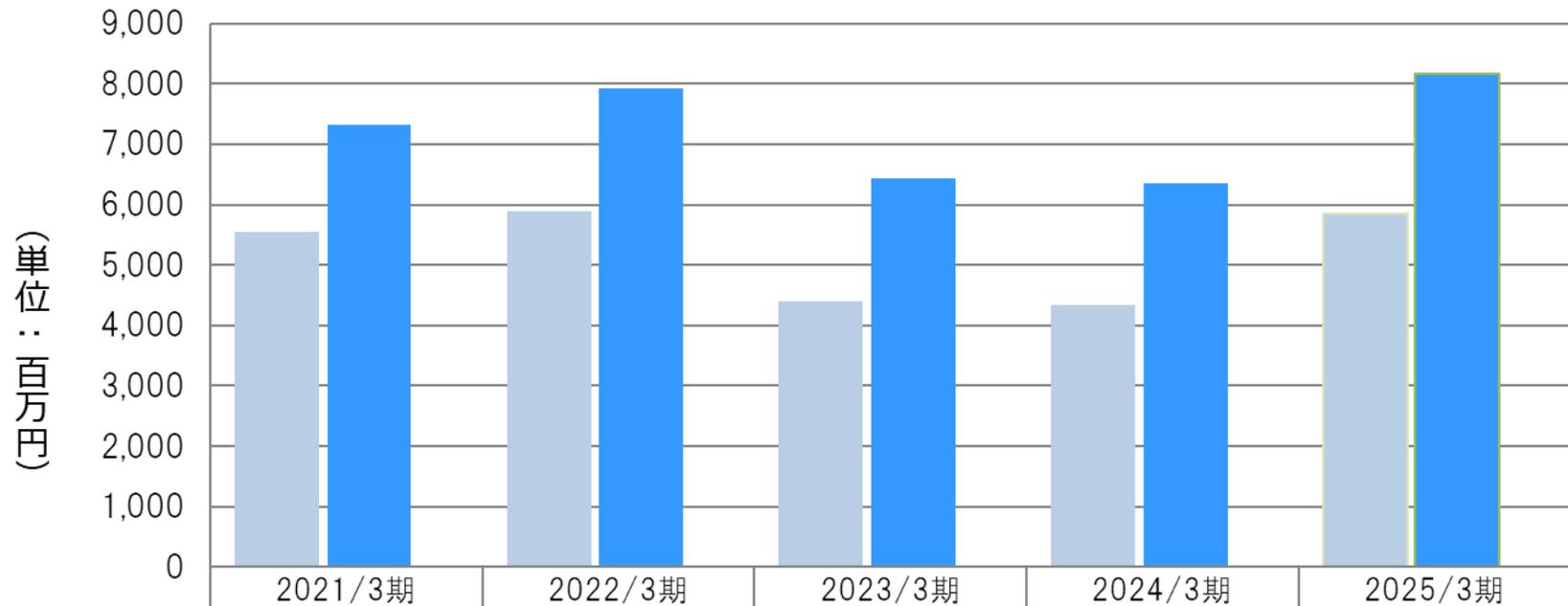
スプレッドタイプバリエーションも多種開発中です。

動物由来原料を一切使用せず大豆のコクと旨味を活かした濃厚なアニマルフリーラーメンです。

## 第3四半期 売上高の推移（単体・連結）

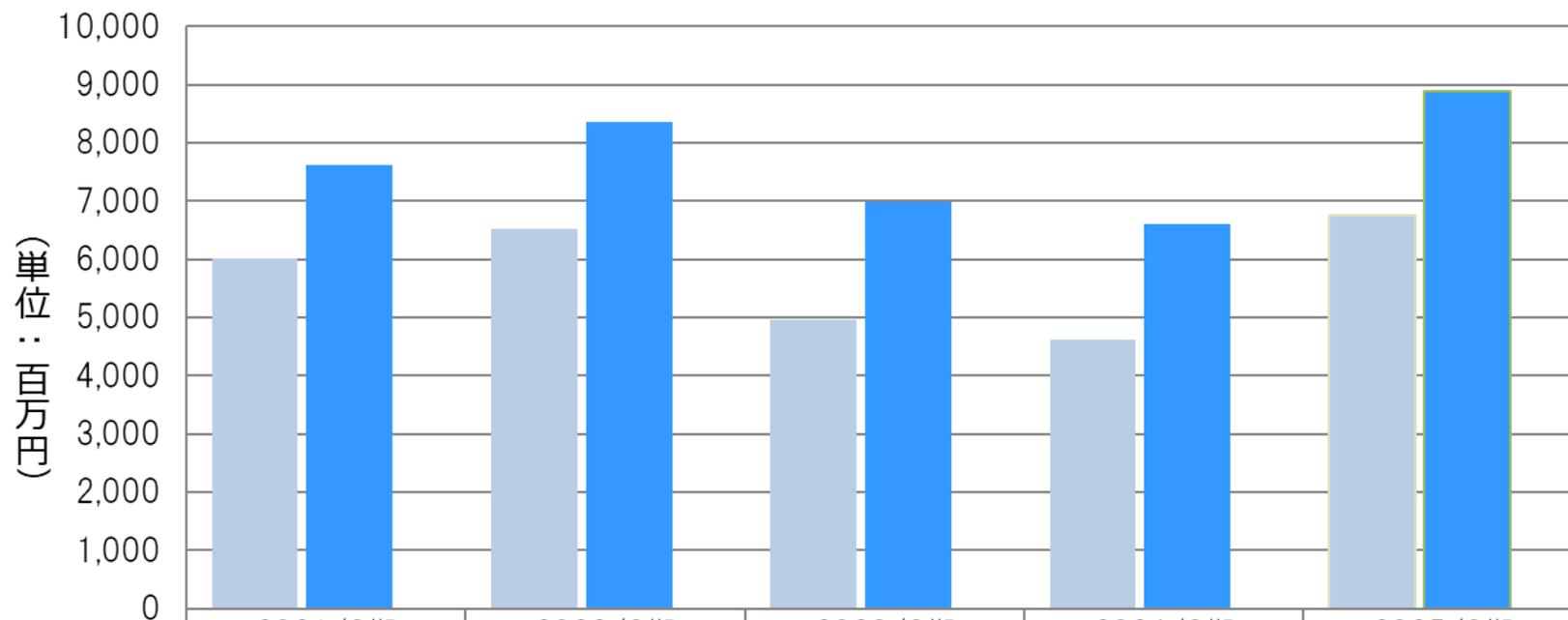


## 第3四半期 営業利益の推移（単体・連結）



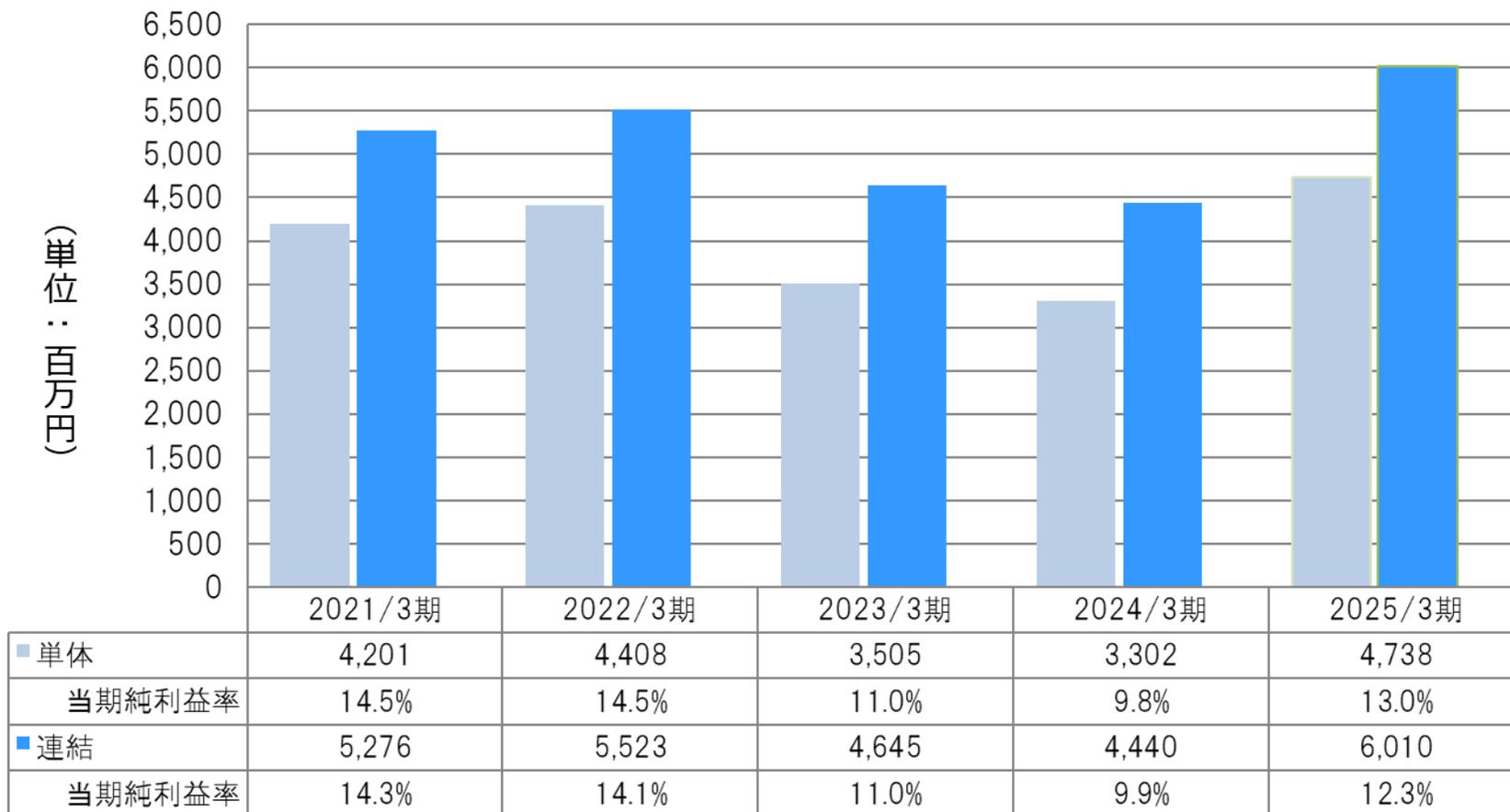
■ 単体	5,539	5,890	4,391	4,345	5,840
営業利益率	19.1%	19.4%	13.8%	12.9%	16.1%
■ 連結	7,317	7,921	6,440	6,348	8,174
営業利益率	19.9%	20.2%	15.3%	14.2%	16.7%

## 第3四半期 経常利益の推移（単体・連結）

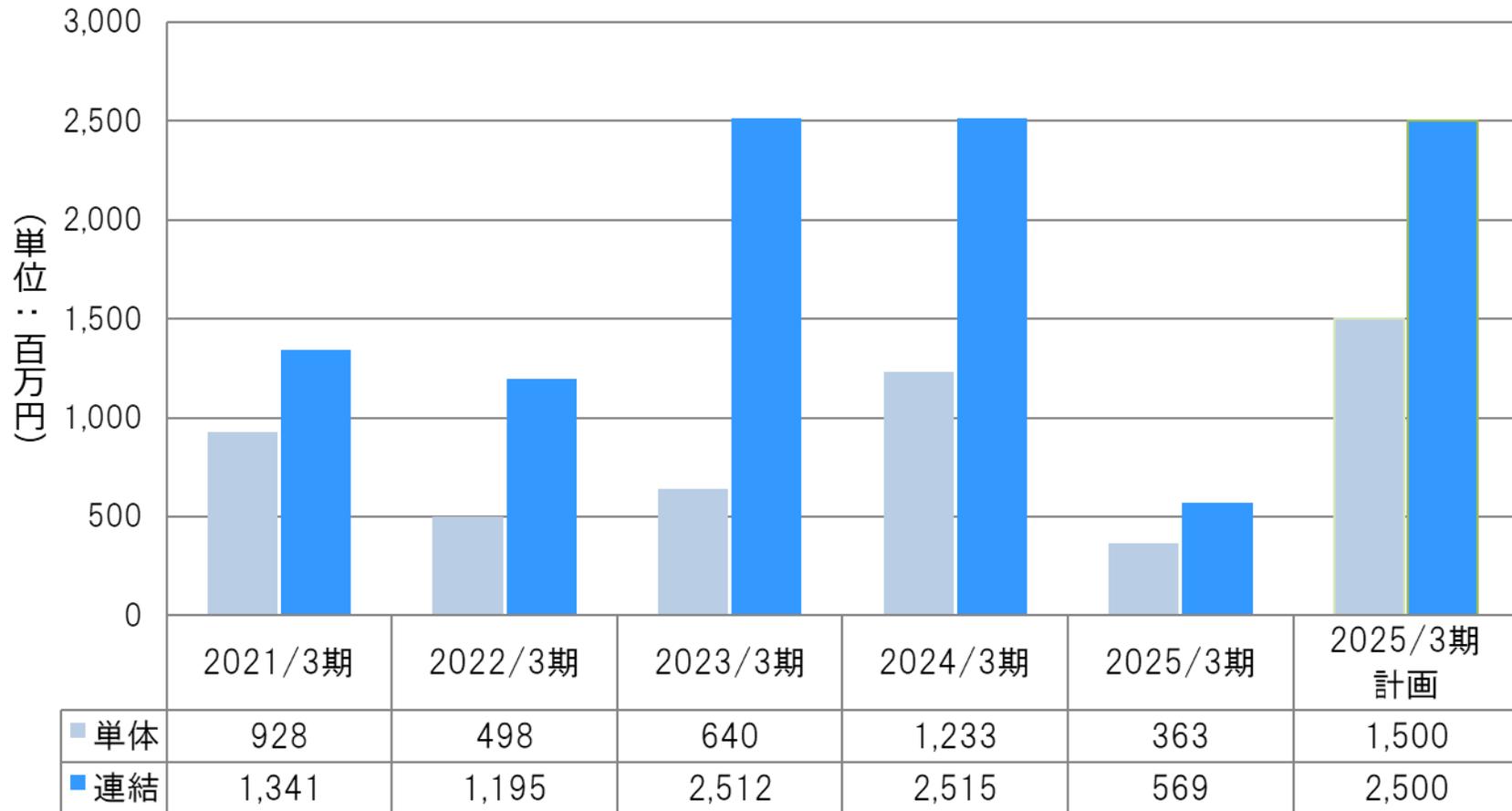


	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
■ 単体	6,014	6,523	4,954	4,614	6,763
経常利益率	20.7%	21.4%	15.6%	13.7%	18.6%
■ 連結	7,630	8,364	6,986	6,609	8,890
経常利益率	20.7%	21.4%	16.6%	14.8%	18.2%

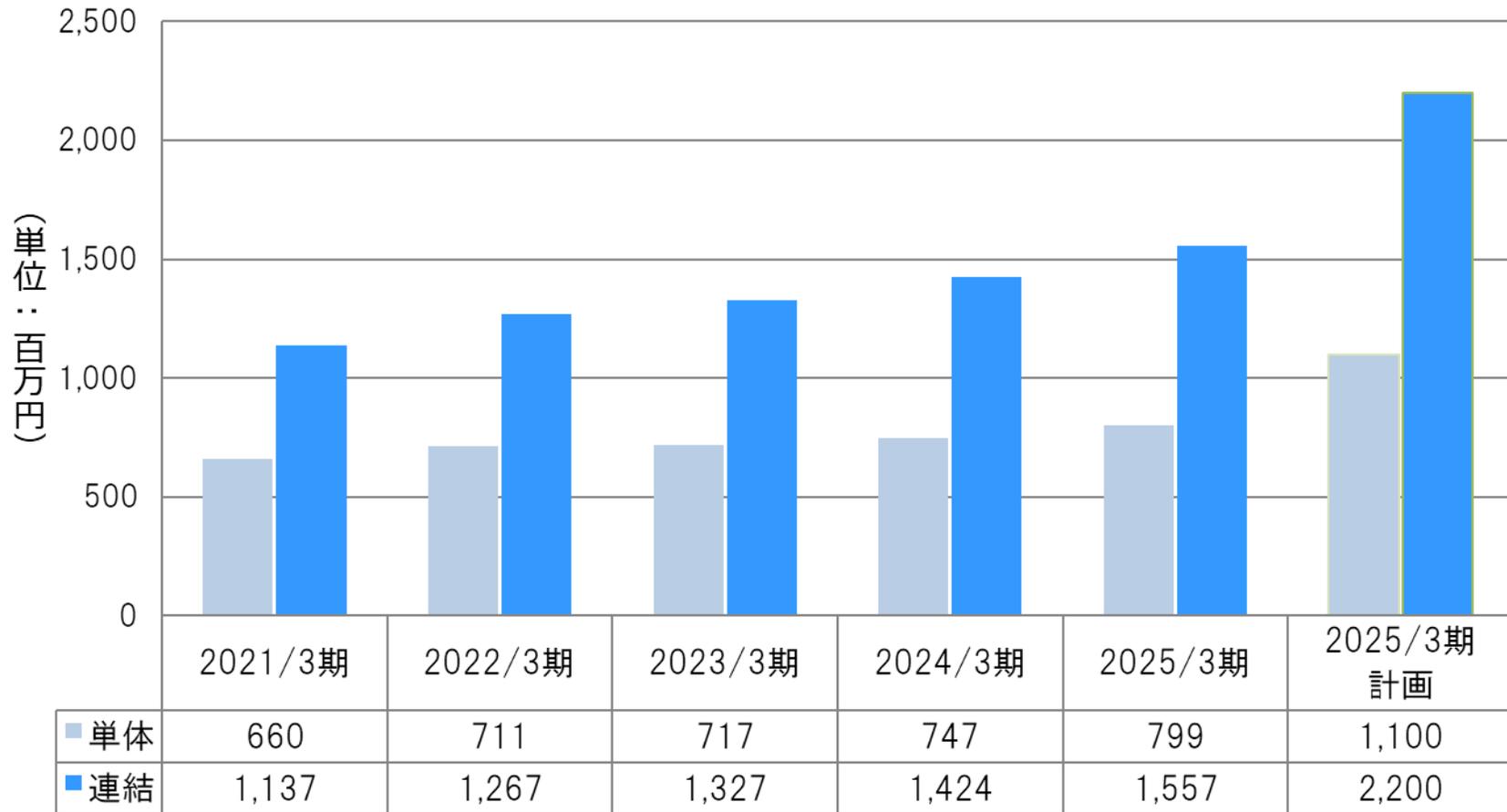
## 第3四半期 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



## 第3四半期 設備投資の推移（連結・単体）



## 第3四半期 減価償却費の推移（連結・単体）



## 当期計画（地域別）

※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2025/3期 計画 (A)	2024/3期 実績 (B)	増減 A-B	2025/3期 計画 (A)	2024/3期 実績 (B)	増減 A-B
アリアケジャパン	460	447	13	69	59	10
子会社 計 ※	168	147	22	30	27	3
アジア	109	95	13	26	23	3
欧州	57	54	2	4	4	△ 1
日本	3	3	△ 0	0	0	△ 0
連結	628	600	28	99	87	12

EUR	157.12	157.12	0.00
人民元	19.93	19.93	0.00
台湾ドル	4.62	4.62	0.00
ルピア	0.009	0.009	0.000

## 中期3年事業計画

### □ 連結

3年後の2026年度（2027年3月期）の連結売上高は705億円（海外売上高比率32%）、営業利益率19.5%を目指します。従来のB2B事業に加え、中国、ベルギーを主体に消費者向けのB2C製品の販売を強化し、売上増を図ります。

2026年度の営業利益率は19.5%を計画しております。

### □ 単体（アリアケジャパン）

国内は、外食産業を中心とした人流回復による需要増、それに伴う人手不足需要を取り込むとともに、当社の強みを活かした製品の積極的な提案営業を行い、着実な売上増を図ります。

製品の価格改訂、リニューアル、原材料費、水道光熱費等のコストダウンを着実に実行し、段階的に営業利益率の改善を図ります。2026年度の営業利益率は19.0%を計画しております。

## 中期3年事業計画

(単位：億円)

		実績		計画		
		2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
売上高	単体	427	447	460	470	480
	連結 子会社	169	192	203	233	267
	連結 調整	△ 39	△ 39	△ 35	△ 40	△ 42
	連結売上高	557	600	628	663	705
営業利益	単体	57	59	69	80	91
	連結 子会社	27	27	30	40	47
	連結営業利益	84	87	99	120	138

# アリアケグループ成長のビジョン

## □ 連結

成長戦略を推進し、特に成長余地の大きい海外グループ会社の売上を伸長させ、2030年には、2023年度の1.7倍の連結売上1000億円を目指します。

## □ 海外

海外グループ売上を2030年度に2023年度153億円の3倍以上を目指します。中国、ベルギーは、従来のインダストリー、フードサービス向けB2B事業に加え、消費者向けB2C製品の販売を強化致します。さらに新たに米国工場の建設を行い、B2C製品を主体とした新規開発品の製造販売を行います。

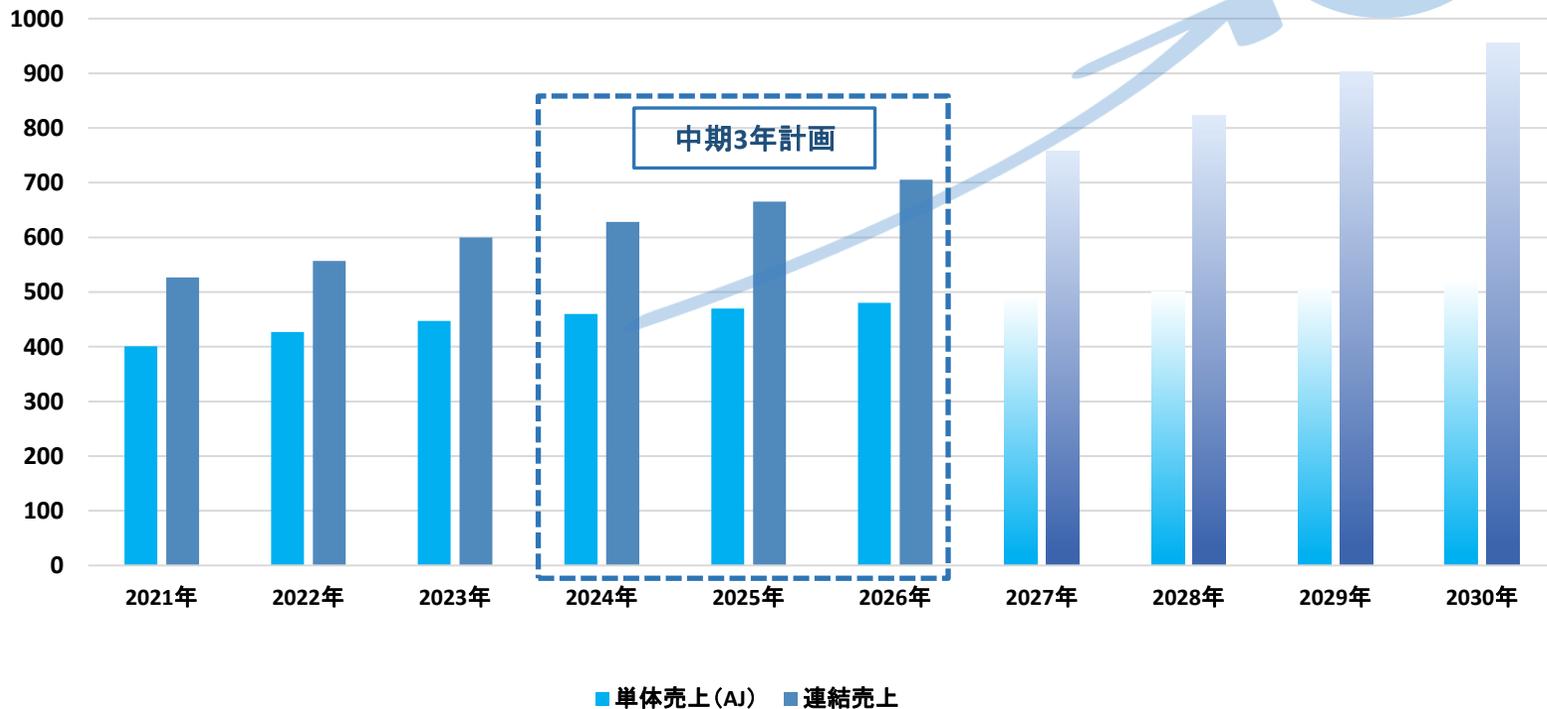
## □ 単体（アリアケジャパン）

外食産業を中心とした人流回復による需要増、それに伴う人手不足需要を取り込むとともに、積極的な提案営業を行うことでシェアを拡大し着実な売上増を図ります。

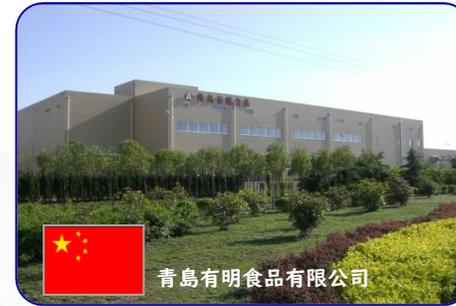
# アリアケグループ成長のビジョン

- 中国、ベルギー工場のB2C展開
- 米国工場再進出
- 国内は、人手不足需要と強みを活かした提案営業でシェア拡大

(億円)



# アリアケグループ「世界7極体制」



Henningesen  
Nederland B.V.

青島有明食品有限公司

Ariake Europe NV

F. P. Natural  
Ingredients SAS

アリアケジャパン株式会社  
台湾有明食品股份有限公司



PT. Ariake Europe Indonesia



- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、疫病や健康問題の影響など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。